CAUTION

ネットでのソフト入手は慎重に!

パソコンやタブレット、スマホが普及したことで、誰もがネットショップやネットオークションを通じて気軽に買い物ができる便利な世の中になりました。多くのソフトウェアも今ではネットで入手できます。しかし、一方で「非正規品を買わされた」「ネットショップや出品者と連絡がつかない」などのトラブルが後をたちません。

最近では、個人情報の漏洩や不正送金をさせる悪質なウイルスを一緒にインストールさせる手口も見られます。こうしたトラブルに巻き込まれないためには、「正規品を買う」「信頼できる相手から買う」ことが何よりも大事です。

以下は、注意が必要な商品とショップ(出品者)の特徴です。

⚠注意が必要な商品

- 価格が安すぎる
- プロダクトキーやシリアル番号だけを販売している
- 法人向けのボリュームライセンスと称して販売している
- 他言語版、OEM 版、DSP 版と称している
- パソコンに同梱されているDVDを単品として販売している

⚠注意が必要なショップ

- 説明文の日本語に間違いが多い
- 扱う商品のレビューがどれも似た文章で、絶賛する内容が多い
- 「100%正規品・本物」等と強調している
- 「国内より発送するので安心!」などの記載がある
- 「認証保証」等の記載がある

職場でのソフト利用はルールを守って! 法人編

著作権を保有するメーカーなどからソフトウェアを利用しても良いという許諾を受けることをソフトウェアライセンスと呼びます。利用者は、そのライセンスの範囲内でソフトウェアを利用できるのですが、企業や組織では多くのパソコンやソフトウェアを利用するため、ライセンス管理が欠かせません。

BSA では、このソフトウェアライセンスについて正しく学べるコンテンツを e ラーニングで提供していますので、ご活用下さい。

BSAの eラーニング コンテンツ

いまさら聞けない
ソフトウェア・ライセンス入門

トップマネジメントのための
ソフトウェア・コンプライアンス入門

http://bsa.or.jp/e-learning-info/

The Software Alliance
BSA

BSA | The Software Alliance (BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス) は、グローバル市場において世界のソフトウェア産業を牽引する業界団体です。BSA の加盟企業は世界中で最もイノベーティブな企業を中心に構成されており、経済の活性化とより良い現代社会を築くためのソフトウェア・ソリューションの創造に年間数千億円もの投資を行っています。世界各国の政府との意見交換、著作権をはじめとする知的財産権の保護ならびに教育啓発活動を通じて、BSA はデジタル社会の拡大とそれを推進する新たなテクノロジーへの信頼の構築に努めています。BSA の主な活動には、法制度および重要政策に関する政府への提言(アドボカシーアジェンダ)と不正対策活動(不正対策アジェンダ)があり、日本では不正商品対策協議会(ACA)や一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会(ACCS)等の業界団体や関係官庁とも積極的に協力しながら活動しています。